

音楽科 評価計画（全学年共通）

【評価方法】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
定期考査 実技試験 創作作品 ワークシート 発言	定期考査 パート練習時の評価 発言 創作作品 実技試験 ワークシート 自己評価カード	学習活動への取り組み方 発言・表情 定期考査 実技試験 自己評価カード 提出物

【評価基準】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について十分に理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を十分に身につけ、歌唱、器楽、創作で表すことができる	音楽を形作づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を十分に工夫している。 また、どのように表すかについて思いや意図を持っている。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組み、全体の向上のために力を発揮している
B	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表すことができる。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫している。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている
C	曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解していない。 創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表すことが不十分である。	音楽を形作っている要素を知覚したり、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じたり、音楽表現を工夫することができない。	音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことに消極的である。

【評価から評定への総括方法】

	評定の目安	達成値
5	十分に満足と判断されるもののうち、特に程度の高いもの	90%以上
4	十分に満足と判断されるもの	80%以上
3	おおむね満足と判断されるもの	50%以上
2	努力を要すると判断されるもの	20%以上
1	一層努力を要すると判断されるもの	20%未満